

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

10

1990
OCT
月号
NO.407

シリーズ “働く”

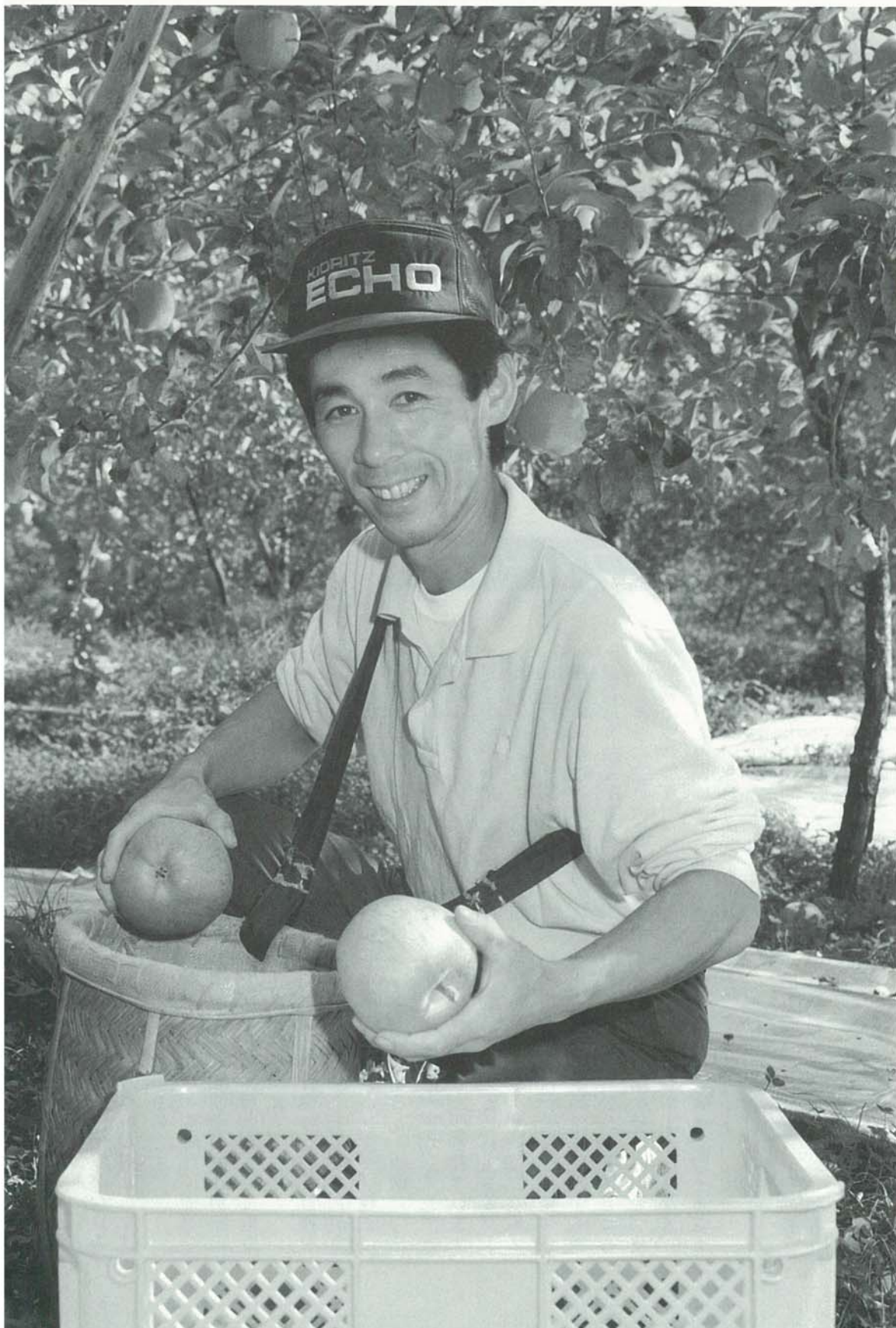
本物の味をより多くの人に

実りの秋をむかえ、世界一、千秋などのりんご収穫に励むのは村山茂雄さん（大谷七・27歳）。

高校卒業と同時に、福島県のりんご農家で一年間栽培技術の研修を行い、現在、りんご専業

農家として活躍中。

「おいしいりんごづくりは、有機質肥料を使った土づくりが基本」と語る。彼が丹精込めてつくりあげた本物の味を持つ「あさひまちなんご」、いよいよこれからが収穫の本番だ。





九月定例町議会で決議された「地球にやさしい町」宣言を基調として、十月七日、朝日自然観で「空気シンポジウム」が開催されました。自然を枯渇させない開発や、美しい自然を保存するためには、一人ひとりが、身近かなところから行動を起こそうと参加者百二十名に訴えました。また、「環境行政の今日的課題」と題し、北川石松環境庁長官の記念講演も行われ、「今こそ地球にやさしさを」と全国へ、そして世界へアピールしました。

act Locally

考え地域から行動を

り「エコミュージアム

町民フォーラム



溝口次夫さん

40年後地球の気温は
3.5℃上昇する

●司会 今日お出でいただいた先生方には、これから長くお付き合いをお願いしなければならぬような気がします。よろしくご指導をいただきたいと存じます。はじめに溝口先生お願いします。

●溝口 私は二十五年間大気汚染に取り組んできました。こんなに空気のきれいな町で空気について真剣に考え、シンポジウムを開催したことについて空気を研究しているものとして、感謝申し上げます。

しかし、空気には国境がないので世界中の人々が大切にしなければならぬものです。

最近、地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨の問題が特に大きな地球環境問題として取り上げられています。

まず、温暖化については物を燃やすと発生する炭酸ガスが主な原因と考えられます。現在のままで推移すると、西暦二〇三〇年には気温が平均して三・五度上昇すると心配されています。次にフロンガスによるオゾン層の破壊があります。このオゾン層の役割は、太陽から発せられる有害な紫外線を吸収する働きをします。これが破壊されると直接紫外線を受けるので、皮膚ガンになりやすくなるなど、様々な障害を人体に与えることになります。

三番目は酸性雨の問題で、その原因は亜硫酸ガスや窒素酸化物です。このふたつが、大気中で酸化し硫酸、あるいは硝酸となり地上に降ってきます。それ

「地球にやさしい町」宣言

地球は、全宇宙の中で唯一の生命体を持つ星として長い時間生きてきました。

生きている地球ゆえに病気にもなります。それは、微熱の続く「地球温暖化」、地球の皮膚あれの「酸性雨」、やけどを起こす「フロンガスによるオゾン層破壊」となっています。これらは、人々に対してもっとやさしくしてほしいという地球の切実な願いなのです。

この状況の中で、世界各地で環境を大切にするために、「地球規模で考え、地域で行動しよう」とさまざまな取り組みが行われています。わが町は、磐梯朝日国立公園、山形県自然環境保全地域を抱え、最上川を中央に持つ自然環境の大切さを第一にうたっており、農業を基本とした産業の振興、自然の摂理を理念とした「自然観」、足元の生活、生産を考え築く「のんぼかの森」、そして清流を取り戻す運動としての「合併処理浄化槽」設置や、世界の人々に対し空気の大切さを再認識させ、自然との共存、共生を訴える「空気神社」があります。これらは、わが町の「地球にやさしい」行動を自ら主張し実践するという歴史の積み重ねです。

この主張と行動の歴史と風土をさらに明確にし、町民一人一人が環境を大切にすることを目標に、ここに「地球にやさしい町」宣言を行い、「地球にやさしい町づくり」をめざします。

以上、決議する。

平成2年9月26日

山形県西村山郡朝日町議会

水一石」といわれるように、森が豊かであることによつて災害などを防いでくれる公益的機能を持つています。また、人間に心の豊かさを与えてくれるのも森の役目です。ブナの実一升金一升」という諺を教えていただいたのもお年寄りからでした。私が朝日町で大好きな場所が二ヶ所あります。一つは、左沢



工藤父母道さん

自然の賢明かつ合理的利用を

生林なので、手つかずのまま保存してほしいと国にお願いをしています。しかし、残りの二万九千ヘクタールについては、林業にたずさわる人たちの生活もあるの、自然を枯渇させないよう使つて下さいといつてゐるのです。木がかわいそうだから切るなという、自然愛護とは違うことをご理解下さい。

出席者

●パネラー

・溝口 次夫氏

国立環境研究所総合研究官。20年以上大気汚染の研究を行っている「空気博士」

・工藤 父母道氏

日本自然保護協会保護部長全国各地の自然保護活動に東奔西走

・荒井 利津子氏

(株)山形ハイムセンター代表取締役。「きれいな水といのちを守る山形県民の会」代表委員

・西沢 信雄氏

「朝日鉱泉ナチュラリストの家」の主人。朝日町エコミュージアム研究会代表

●コーディネーター

・阿部 宗一郎氏

朝日町地域開発研究会長

Think globally

地球規模で

「空気」にやさしい町づく

が植物を枯らしたり、湖に魚が住めなくなったりしているのです。欧米では問題化していますが、日本ではまだ顕在化していません。しかし、いつ発生しても不思議ではない現状です。

●司会 いまお話いただいたことは、「地球にやさしい町」を宣言した町民としては、知識として知つていてもいいことですね。それでは次に工藤先生お願いします。

●工藤 私は十五年ほど前、森の学校を開きたいということで一ツ沢に年に十回ほどおじゃましたことがあります。

ブナの森は、ブナの木一本、

から朝日町に来てまもなく、最上川が左手にゆつたりと流れ、周囲を森に囲まれている場所です。一級河川では全国的にみても素晴らしい景色です。もう一つは、朝日鉱泉のヌルマタ沢付近のブナの森です。

最近、国際的な環境問題の会議に出席すると①持続可能な開発②生物学的多様性③生物倫理という三つのことがいわれます。第一の持続可能な開発とは、「自然の賢明かつ合理的利用」ということです。たとえば、白神山のブナ林の問題では、四万五千ヘクタールのうち一万六千ヘクタールは世界的にも珍しい原



阿部宗一郎さん

世界初の試みに 誇りを持つ

次に生物学的多様性ということですが、これは地球上には一千万種が存在するといわれている種のなかで、人間がよく知っているのは百四十万種。残り八十六%はよく分からないことになりす。ブナの森には五百種の薬用植物があるといわれていますが、乱伐によってその種が減少してきていることを考えると科学だけで判断してはいけないことが多いように思います。

三つめの生物倫理とは、人間は自然界の生命体のひとつにすぎないが、最も強大な力を持つ存在だということ。だからその力の使い方は、自然に対する思いやりを持った行動をしなければならぬということです。

世界全体が科学だけで判断するのは危険だと認識し始めたということでしょう。

●司会 ありがとうございます。今日のテーマの核心をつく話になってきたようです。それは荒井先生お願いします。

●荒井 私は日常生活を通して

地球にやさしい運動を訴えたいと思います。

三十六年の教員生活のなかで四年間現場から離れて学校に戻ったとき、子供達の体の変化に気がきました。それはアレルギーの子供が三割にも達していたことでした。この原因として考えられることは、食品添加物や農薬などもあるかも知れませんが、合成洗剤はどうなのかと考え、調査研究に取り組むようになったのです。

特に学校給食の現場では、合成洗剤を使わない運動を中心に活動をしています。合成洗剤から石けんに切り替えた学校からは、子供達に安全な食器で食事をさせることが出来るし、手あがれがなくなったなどの話が寄せられています。

現代は、自然の中で空気や水が浄化され、その美しい自然の中で生物と人間は共存しているということがだんだん失われつつあるように思います。各家庭がゴミを出さない。悪い物質を

川に流さない。地中に染み込ませない。という行動があつてはじめて美しい町が保存されるのではないのでしょうか。

●司会 ありがとうございます。理念としては分かっているも、具体的行動という点では大変耳の痛い話です。それでは西沢先生お願いします。

●西沢 私からはエコミュージアムについて話してみたいと思います。

一言でいいますと、私達の生活や環境についても一度見直し、新しいものの味方、考え方をつくるといことです。

少々言葉が難しいので説明しますと、エコとはエコロジー(生態学)のエコであり、ミュージアムとは博物館ということですが、これはフランスのアンリ・リビエールが一九七一年に考え出したもので、現在フランスを中心に欧州各地で実践されていますが、日本では初の試みです。

その考え方の柱は①自分自身に適した生き方をする②み



荒井利津子さん

環境問題 まずは家庭から

んなが仲良く暮すためにもっと関心を払うこと③今までの歴史や文化に流されることなく、住む人が自主性を持って新しい価値観で生きること、すなわち、みんな楽しく生き生きと自主性を持って生きることです。それでは、その資源が朝日町にあるのかということですが、たとえば、朝日川上流のヌルマタ沢周辺のブナの原生林や国の重要文化財佐竹家住宅、それに大沼浮島などたくさんあります。地元にある良いもの、良い文化を見直すというのが始めですが、すべて古いものを残し、新しいものを否定するというのはありません。より自分達の生き方に合致したのを見つけ出すこと。すなわち、時間を止めないで、将来を見つめ新しい産業や生活をつくりだそうというものなのです。

具体的には、先に述べた場所をサテライト(先端地域)として、コアセンター(エコミュージアムセンター)を設ける。そしてこのセンターは、地域の人間にとっての学校であり、自然と文化の保護センターであり、これからどう進むべきかを研究する研究所ということになります。

●司会 ありがとうございます。『地球にやさしい町』宣言のベースになっている考え方であり、大変重要な説明だったと思います。次に補足説明を溝口先生からどうぞ。

●溝口 空気を汚さないためにはどうするかをお話しします。一つは科学技術の力によって汚染物質を排出しないということ。二つめは炭酸ガスを吸収してくれる森林の保全。三つめは車の排気ガスを少なくする運動。すなわち電気自動車の開発ということ。

●司会 科学で出した歪みは科学の力で解決するということですね。そのあたりについて工藤先生いかがでしょう。

●工藤 物の豊かさとか利便さは大変大事なことです。そのとき何を失ったかを見極めなければならぬと思います。

今の質問の答えにはなりませんが、急がず、たゆまず、やり続けることが解決につながるのではないのでしょうか。

●司会 ありがとうございます。ではフロアのみなさんから



西沢信雄さん

時間を止めないで 将来を見つめる

意見や質問をお受けしましょう。
●参加者 農薬の空中散布について先生方はどう考えますか。
●溝口 空散は人体に悪影響を及ぼすと考えています。

●工藤 良くないと思います。今は農業は農薬のことだけ、林業は林業のことだけしか考えられないような状況にあります。空散が他に及ぼす影響を十分に考える必要がありますね。

●司会 「地球にやさしい町」を宣言した以上、議会、行政、町民が一体となって解決すべき課題です。これから町民の学習が始まるということでしょう。
●参加者 市民レベルで環境問題を考え、実践して本当に効果があがるのでしょうか。

●溝口 効果があがるのかというよりも、そういう考え方をもち、できることから実践するということが大事だと思います。
●参加者 産業活動をどう変化させていくかということが重要だと思いますが。

●司会 科学の力で地球環境の

破壊をどこまでは正できるのか、経済開発の価値観をどう転換していくのか東西対立が終った今、その大きな矛盾を解決しようという方向に全世界が動き出すだろうということでしょうね。

最後にまとめてみると三点あるように思います。第一は「地球にやさしい町」を宣言したということを自覚すること。第二は自ら実践活動を開始することが大切だということ、第三は宣言したことを誇りに持つということだと思っています。

町民が主体でこんなことをやっているのは、世界で初めてだと誇りに持つてほしいし、それを持てたならば第一歩は成功したといえるでしょう。

経済的価値より環境的価値に生きるという価値のほうがより大事だという、東京より所得が低くてもいいじゃないか、ここで暮すことのほうがずっと素晴らしいことだと子供にも伝えられる、そんな町づくりをしたいと思っています。

世界中の空気はつながっている

北川環境庁長官へのメッセージ

立木小学校六年 大井 修 君



北川長官へメッセージを伝える
大井君(空気神社にて)

ぼくたちの町には、朝日岳というすばらしい山があります。ブナとナラの森が美しい山です。東北のアルプスとよばれている朝日岳には、毎年たくさんさんの登山者が、豊かな自然を求めてやってきます。ぼくたちも、毎年この朝日岳に登りながら、自然を大切にしていきたいといつも心に思っていました。しかし残念なことに、これまでたくさん

のブナやナラの森が切られてしまったら、貴重な高山植物が採られたりしてしまいました。

今、全国各地でいろいろな工事が行われています。便利になるのはいいいですが、そのために貴重な自然が失われてはなりません。一度失われてしまった自然を元通りにするには、なまやさしいことではありません。ですから、自然をこわさないように、十分注意して工事をしてほしいと思います。

ぼくたちの朝日町は、空気がとてもきれいなところなんです。それは、自然がたくさん残されているからです。しかし、ぼくたちにも心配なことがあります。酸性雨で森の木が枯れたり、年々暖かくなつて冬に雪があまり降らなくなつたりしていることです。世界中の空気はひとつにつながっているのです。環境汚染の問題はぼくたちに無関係なことではありません。

豊かな自然がたくさんあってこそ、清らかな水も、すがすがしい空気もあるのです。世界中の人たちに、日本中の人たちに自然を大切にしてほしいという願いから、朝日自然観や空気神社がつくられました。しかし、空気神社にただ手をあわせてただで、さまざまな環境問題が解決されるわけではありません。ぼくたち人間は、そのために努力をしなければいけないと思います。

ぼくたちの学校でも自然学習をしながら、あきかんや紙くずなどのごみ拾いをみんなですています。これからも、美しい地球、美しい日本を守るために、ぼくもできるかぎりのことをしていきたいと思っています。

北川環境庁長官さんからも、ぼくたちのこの願いを世界中の人たちへどうか伝えてください。よろしく願っています。

木のぬくもりが伝わる学校建設中

町立立木小学校



木材がふんだんに
使用されている内部

朝日自然観の表玄関にふさわしい外観の校舎。3学期からはこの新校舎で勉強ができる。



木材をふんだんに使った、町立立木小学校が今年中の完成をめざし着々と工事が進められています。

木造一部鉄筋コンクリート二階建一千二百六十三㎡、総工費二億六千八百九十六万円の校舎は、立木公民館西側に六月十八日から建設が始まりました。

この校舎の特徴は、児童たちに木のぬくもりを伝え、人間性豊かな子供に育ってほしいという願いから、木材がふんだんに使用されているようです。なかでも、一階から二階に抜ける主用な柱には、六寸角の集積材六十七本を使用。強度、耐久力の面でも鉄骨づくりに劣らない設計になっています。また外壁は、鳥や害虫から守るためサイディング材を採用。屋根の部分は一m五〇cmの積雪まで耐えられる水平屋根を採用するなど、意匠の面でも朝日自然観の表玄関にふさわしいものとなっています。

内部については、多目的スペースを設け児童たちの学習能力のアップに配慮することはもちろん、学区のみなさんに開放できる和室や郷土史料室なども設置される予定。この校舎の完成予定は十二月下旬で、新年からは新しい校舎で勉強ができそうです。



受賞を喜び合う団員と指導者のみなさん

大谷ジュニア剣道スポーツ少年団が、九月五日、東京東条会館で行われた、平成二年度体育功労者及び社会体育優良団体表彰式の席上、社会体育優良団体として文部大臣表彰を受賞しました。

1. 勉強します
2. よい行いをします
3. 剣道をします

をモットーに22年

大谷ジュニア剣道少年団

文部大臣表彰に輝く

同少年団の発足は、町内では最つとも古く昭和四十三年九月にさかのぼります。大谷の伝統である剣道を小学生から始めることで、地域スポーツの振興を図り、少年の健全育成に役立てようと始まりました。

今日までの間、東北中学生チヤンピオンを男女それぞれ一名輩出するなど、数多くの優秀な少年剣士を育て上げました。また、全国少年剣道大会水戸大会には連続十二回出場という数々の栄光があります。この影にはボランティアで指導下さる指導者の先生や、団員の父兄で組織している後援会など、地域をあげた応援体制をみのがすことはできません。

後援会長の堀謹一郎さんは、「諸先輩のみなさんや、講師の方のためみな努力で名誉ある賞をいただきました。今後は益々発展するようがんばりたい」と喜びを語ってくれました。

昨年の出動は134件

正しい救急車の利用を 「1日救急隊長行事」

九月九日の救急の日を前に、広域消防署朝日分署で、「1日救急隊長」の行事が行われました。

一日救急隊長には、町議会文教厚生常任委員長の阿部賢一さんが就任。さっそく、署員を前に「町民のみなさんの救急業務に対する需要は年々高まってきています。生死に係わる重大な任務であることを自覚し、迅速、適切な対応に努めて下さい」と訓辞。

その後、救急隊員による救急器材の取り扱い方や、応急手当の実技訓練がさゆり保育園児を招いて行われました。



応急手当の実技訓練を披露する分署員

美しいせせらぎ守る

活動認められる

町合併処理浄化槽推進協議会が 環境庁水質保全局長賞を受賞



十月一日、第四回全国浄化槽大会において、朝日町合併処理浄化槽推進協議会（海野敬次会長）が、環境庁水質保全局長賞を受賞しました。

同協議会は、平成元年十二月に合併処理浄化槽の設置を促進し、快適な生活を確保することや、環境の保全などを目的に設

立。大谷地区を除く町内全世帯が会員となっています。

今回の受賞は、生活雑排水に対する取り組みで、町民をリードする形で積極的な行動を展開したことや、一年間で七十基の合併処理浄化槽を設置するという全国的にみても、すばらしい活動を実践していることが高く評価されたものです。「今回の受賞を機に、町内の全世帯が合併処理浄化槽を設置しやすい体制づくりに一層がんばりたい」と語る海野会長。なお、現在同協議会では平成三年度、合併処理浄化槽設置希望者を調査中です。希望の方は区長さんへ申し込み下さい。（詳しくは役場保健課へお問い合わせ下さい）。

国体にむけ審判員 養成スタート

～ソフトボール3種公認審判員
に25名合格～



去る八月十一日、十二日の二日間にわたり行われた、日本ソフトボール審判員認定講習会で

次の方々が、三種審判員に合格しました。

鈴木義昭（大暮山）、阿部光一（大暮山）、阿部秀夫（本町）、多田孝雄（本町）、長岡幹男（本町）、鈴木徳博（本町）、阿部英（西原）、堀重雄（元町）、清野正則（四ノ沢）、清野庄一郎（四ノ沢）、鈴木寛治（四ノ沢）、渡辺一義（前田沢）、鈴木吉浩（前田沢）、長岡秀昭（前田沢）、石黒益雄（栄町）、鈴木清男（栄町）、白田運吉（大谷一）、石黒充宏（元町）、鈴木正治（西町）、大竹賢一（西町）、松尾正二（西町）、峯田稔（西町）、阿部賢一（今平）、近衛正雄（大隅）、阿部忠之（八ッ沼）



国勢調査にご協力

ありがとうございました

国勢調査は調査表の回収を終了しました。ご協力ありがとうございました。調査結果は、これからの朝日町の町づくりや、日本を考える基礎資料として役立たせていただきます。



ゴルフ場開発を考える

十分な論議が必要

朝 日 お も し ろ 塾 開塾

今年度の「朝日おもしろ塾」が、「地球を知ろう、自分を知ろう」をテーマとして九月二十日、町中央公民館で開塾しました。当日は、「私達の暮らしからゴルフ場開発を考える」と題した、山形大学幅口一夫助教授の講義により開塾。

ゴルフ場問題を考える場合、推進、反対の色分けをしないでその裏に潜んでいる真実を考えることが大切。①過疎化の歯止めや地域の活性化につながるか。②破壊された山や土地は元に戻せない。③ゴルフ場が失敗すれば産業廃棄物処理場にならないか。以上の点を十分論議すべきであるとの話がありました。



身近な問題として熱心に受講する塾生たち

現在、朝日町でも二ヶ所に建設構想が浮び上がっているだけに塾生の関心も高く、「地域に対する経済的効果はどうか」など活発な質問や意見がとび交いました。



国際交流にも一役買ったワインまつり

国際色豊かに

第11回 朝日町ワインまつり

第十一回朝日町ワインまつりが九月二十三日、上郷ダム公園で開かれました。

二十人分の前売券は、発売後四十分で売り切れるほどの人気で、東京や宮城県などからの引き合いもありました。当日は、絶好のまつり日和に恵まれ、威勢のいい和合太鼓で開宴。県内外から訪れた二千人の参加者は、大だるに用意された新酒の朝日町ワインと、朝日牛三頭分七百キロに大いに舌つづみをうちました。また今年は、県内各地に国際交流事業できている外国人十名も参加し、国際色豊かなワインまつりとなりました。

アピールしよう!! “あさひまち”のすばらしさ

～2001年未来への旅inあさひまち～

9月30日、2001年未来への旅inあさひまちをテーマに、ヤングフォーラム朝日町大会が、朝日自然観を会場に楽しく活発に行われました。

町内各種団体やサークルの代表者たち21名は、午前中、昆虫探しやグランドゴルフを楽しんだ後、会場を「大地」に移して大討論会。「Uターンしてきても魅力ある職場が少ない」、「空気神社に空気の自動販売機や世界の空気コレクション館をつくっては」、「自然観は徹底してエコロジーグッズを使用すべき」など町づくりや自然観に対する積極的な意見が出されました。



食事処「大地」で行われた大討論会

椅子縫製一筋

安藤進さんが
(松原)
県知事賞受賞



(株)朝日相扶製作所に勤める安藤進さん(松原 26歳)が、山形県障害者雇用促進大会の席上、県知事表彰を受賞しました。

安藤さんは入社以来、十年にわたり椅子製作の縫製部門を担当。ろうあ者のハンディを克服しながら縫製一筋にがんばり続けた努力が認められ、今回の表彰となりました。

会社の上司の阿部正春さんは「彼は私たち健常者でもきつい仕事を、手にマメをつくりながら黙々と働いてくれます」と安藤さんの根性には脱帽。「障害者だからといって特別扱いは一切していません」と語る隣で、快調なミシンの音が響きます。



改良が進む大江・長井線（川通集落入口）

ひろい黄色い声で 地区の発展を

川 通

最上川と県道長井大江線が並行して走り、川に面してひろけた二十四戸の小さな集落。「健康と和をもって」をスローガンに地域づくりをしています。

川通区は、その大部分がりんご専門農家です。栽培面積は全体で約五十ha、一戸平均二ha以上にもなり、早くから明神山果樹組合を組織し、新潟市場を中心に出荷、高値で取り引きされています。また農業後継者も非常に多く、日夜栽培技術の研

究に励み、集落が一丸となっており、ご栽培に取り組んでいるという感じがします。

川通の若妻のみなさんのパワーには驚かされます。おとうさん達の参加するスポーツ大会に子供達と一緒に応援に駆けつけ、恥じることなく黄色い声を張り上げます。そして、応援で相手チームに勝ってしまうこともしばしばです。なんとうらやましく、すばらしい光景でしょう。

川通へは、栗木沢方面からりんご畑を過ぎ直角に右折し、ザルパゲと呼ばれる崖の下を通ります。これを改良し、「角のない戸の口から発展を」と言うのが区民のみなさんの願いです。

（五十嵐義行 広報委員）



芝生広場の雑草刈りに精をだす長寿クラブのみなさん

朝日自然観の クリーン作戦展開

町長寿クラブ社会奉仕活動

九月二十一日、朝日自然観をきれいにしてお客様に気持ちよく利用してもらおうと、町長寿クラブ連合会員による、クリーン作戦が展開されました。

秋晴れの下、鎌とビニール袋を持った四十五名の役員さんたちは、芝生の雑草刈りや、中央広場周辺のゴミ拾いに汗を流しました。

着々と整備が進む朝日自然観をながめながら、「私たちにできることは大いに協力していこう」と語ってくれました。

国税庁長官賞に輝く

渡辺一司さん（大隅）



「国税庁長官から表彰状をいただく時はさすがに緊張しました」と語るのは、長井税

務署勤務の渡辺一司さん（大隅・32歳）。平成元年度税務署員事務改善提案で、全国の税務署員から寄せられた七五〇〇件の提案中最優秀賞に輝きました。

渡辺さんが提案したのは、コンピュータを使った国税の還付事務改善。「日常の業務で、気付いた点を率直に提案しただけです」と語る渡辺さんだが、今年も三〇四件の提案は準備中。

岡崎 忍くん

（水本幼児学級）

県知事賞受賞

第十回山形県動物愛護動物図画コンクール（主催・山形県）で、水本幼児学級の岡崎忍くん（四才）が、県知事賞を受賞しました。

同学級は、渡辺幸美先生（下芦沢）の指導のもと、子供県展に三点、お母さん展に四点それぞれ入選するなど、県レベルの図画コンクールに多数入選しています。



岡崎忍くん（前列中央）と水本幼児学級の子供たち

■連絡先
役場企画情報課
企画広報係へ
☎67-2111 (内222)

おめでとう剣道日本一

近藤洋子四段(栄町出身)

第29回 全国女子剣道選手権大会

女性剣士日本一を決める第二十九回全国女子剣道選手権大会が、九月九日大阪で行われ、近藤洋子四段(栄町出身・23歳)がみごと優勝しました。

同大会は全国の予選を勝ち抜いた六十四選手が出場して行われ、近藤さんが東京代表として出場。巧みな小手を武器に、昨年度優勝の倉地選手ら強豪を倒してみごと初優勝に輝きました。近藤さんは、朝日中学時代はバスケットボールの選手。左沢

高校に入学してから抜群の脚力とバネに目を付けられて、剣道部へスカウトされたのが剣の道に進むきっかけに。



面白くなった剣道を極めようと警視庁へ就職。その一年目に左足のアキレスけんを切るというアクシデントにみまわれたものの、この時、思い切り踏み込めない足をかばいながら、磨きかけたのが必殺小手打ち。これが決勝トーナメントで小気味よく決まり、ついに日本一に。

プロフィール 近藤洋子さん

- 出身地 栄町(父 武雄さん)
- 生年月日 S41.12.5
- 趣味 ゴルフ、映画鑑賞
- 少年剣士へ一言

「努力を怠らずに頑張つて、ぜひ後に続いて下さい」

「私は初出場でマークも甘いし、優勝できたのはまぐれです。」と控えめに話すものの、安定した戦いぶりは、ケガを乗り越え

てつかんだ精神的な強さを感じさせます。

現在、警視庁綾瀬署の婦人警官として、ミニバドで駐車違反を取り締まる仕事をしている近藤さん。「今回の優勝の名に恥じないよう、仕事に剣道にがんばります」とさわやかに語ってくれました。

わたしの おばあちゃん

栄町
花山 幸子さん
(宮宿小3年)
花山ツネ子さん
(68歳)



稲たば結びは

おもしろい

宮宿小で稲刈り体験

九月十九日、宮宿小学校の五年生三十名が実習田五アールの稲刈りに汗を流しました。

まず、指導者のお父さんから鎌の使い方や、稲たばの結び方を習った後、稲刈りに挑戦。稲たばを結ぶダルマ結びがなかなかできない様子で、悪戦苦闘しながら一時間程でようやく終了。十一月には、収穫したもち米



お父さんたちから稲たば結びを習う児童たち

で全校児童による、収穫祭を行う予定。児童たちは今から楽しみにしています。

わたしのおばあさんは、とってもうりが上手です。コロツケや、ハンバーグも手作りで作ってくれます。なっとうオムレツも、にんじん、玉ねぎ、ひき肉を入れて作ってくれます。毎日、かそくのえいようのことを考えて作ってくれています。おじいさんは毎日畑に出て、やさいをとってきます。わたしも妹も、ときどき畑にいつて手つだいをしたり、夕ごはんのあとかたづけもします。おじいさん、おばあさん、いつまでも長生きしてくださいね。

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

ひとことトーク

変身するのがたまらない

「星降る村」で全国青年大会出場

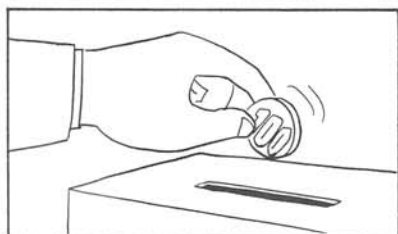


大竹史之さん
(大隅・23歳)

二十三日歳の私が、五十五歳の百姓おやじに変身。田畑すべてを不動産屋に売って、今はゴルフ場のキャディーとして働く。これは、劇団「りんご村から」が中心となって全国青年大会に出場する「星降る村」での私の役どころです。

洋上大学の仲間から誘われて始めた演劇、今は病み付きになりました。普段の自分とは全くなり人間になれるのがたまらなく楽しいし、演ずる時の緊張感が何ともいえないのです。それに、いろいろな職業の人と話しをしたり、酒を飲んだりできるのがいいですね。

昨年は、全国大会に出場できなく、くやしい思いをしました。が、今年は昨年の分までがんばってきたいと思っています。



ふるさと 人国記 6

鈴木清助

山形県体育振興の父



ふるさとの風土に生き、ふるさととの人情に育てられ、やがて飛躍の舞台で活躍した業績はすばらしい。自らの研鑽はもちろんであるが、常にふるさとの恩恵に感謝しながら全うした生涯は、輝かしくも偉大である。

昭和五十四年八月十一日、鈴木清助名誉町民の朝日町葬が、大谷小学校体育館で執行され、故人の冥福を祈った。

明治二十六年二月、鈴木清助氏の長男として生まれた彼は、亮一郎と名づけられたが、大正九年になって清助を襲名する。大谷村青年団長であった彼は、大正十年には県連合青年団長となり、十二年には県議会議員に

当選し、以後四期就任する。

昭和に入ってから大谷消防団長から山形県消防団長に就任、さらに山形県農会会長を務める。

その他、電気や交通会社の要職を歴任。県の文化財保護協会会長や県公安委員長にも就任。

特に体育関係では、県体育協会会長、ローマオリンピック東京大会聖火リレー県実行委員長就任という活躍は、まだ記憶に新しいところである。

こうした業績に文部大臣よりの青年教育功労者表彰をはじめ数限りない授賞があり、藍綬褒章や勲四等瑞宝章を受けた。

昭和四十三年十月に朝日町名誉町民となったが、昭和四十六年七月には山形市名誉市民の称号を授与された。山形市民会館での市民葬で、歌人の結城健三は「たゆみなく体育に君の捧げたる功は永く語りつがれむ」の弔歌をおくった。

昭和五十四年七月十八日没。

文・杉 ひさし



小さい秋みつけた

自然が語りかけてくれるもの

この春のある会合の話の中である人が、こんなことを言っているのを聞きました。

「自然保護とか、地球保護とか、今、世の中でさかんに叫ばれています。自然が人間に保護されたいとか、地球が人間に保護されたいとか、そんなことを自然も地球も全然思っていないと思うのです。自然を守ろう、地球を守ろうと

叫んでいるのは、人間のогりでしかありません。自然は自然のまま生きているし、地球は地球のまま生きているのです。自然や地球を破壊したり、

汚染したりしているのは人間で、結局、人間自身にとつて、それが住みにくいと気づいた時に、人間が勝手に自分のつごうで、自然保護だの地球保護だのと叫びだしたのです。人間こそが、自然に、地球に保護され守られて生きていることを忘れてはならないと思うのです。自然がなければ、地球がなければ、人間は生きてはいけないのですから

人間のおごりが、結局、自分自身、人間自身の首を絞めているのです。私たちはもっと素直な気持ちで、自然とともに、地球とともに生きているということをお忘れしないで、生きていかなければならないのではないのでしょうか」

その話を聞いたとたん、私は目からうろこが落ちたような感じがしました。

それまで私は、自然保護だの地球保護だの、そのような話を聞いても、記事を読んでも、なぜかピンとこなかったのです。なぜかそこには、自然を守ろうという素晴らしい言葉を述べながら、いつも人間の横柄さが見え隠れしてならなかったのです。

*

九月二十日に行われた「朝日おもしろ塾」第一回講座は、「私達の暮らしからゴルフ場開発を考える」という、現在の私たちのまわりの暮らしに即した問題をテーマとして、山形大学の先生の講義を中心に塾が進められていきました。

その講義の内容は、ただ単にゴルフ場開発問題だけを取り上げるのではなく、現代の環境問題を根本から、とても理路整然

朝日町連合青年団

全国大会へ出場

県青年大会演劇部門

で最優秀賞に輝く

第39回山形県青年大会が九月八日、九日の二日間にあたり酒田市を会場に開催されました。

朝日町連合青年団は文化部門に出場。なかでも演劇部門は九月九日、酒田市総合文化センターで行われ、米沢市連合青年団と共に出場した朝日町連合青年団は、劇団「りんご村から」の団員を中心に出場。ゴルフ場問題を題材にした「星降る村」(原作 渡辺 淳(送橋))を熱演しみごと最優秀賞に輝きました。

同青年団は、十一月九日から十一日に東京で開催される全国青年大会に出場することが決定。渡辺良監督を中心とした団員の活躍が楽しみです。また、十一月三日に町の芸術文化祭でも上演しますのでどうぞご鑑賞下さい。

その他に石塚克哉さん(四ノ沢)が写真部門に、安藤貴子さん(宇津野)が手芸部門にそれぞれ出展しました。

私の好きな 朝日の風景

絵画募集

一ふるさと創生事業一

あなたの好きな朝日町の
風景や町並を、絵で表現
してください。

●募集内容

- ①作品の内容は、朝日町内の
風景や町並とします。
- ②画材は自由とし、絵画（水
彩画、油絵、墨絵等）のほか
版画等でもけっこうです。
- ③大きさは、53.5cm×38.0cm
（四つ切り、B3）以内。
- 応募対象／朝日町民なら、
どなたでも応募できます。

●応募方法／作品に、題名、
区(部落)名、氏名、性別、
電話番号を記入した用紙を
添えて応募ください。

●応募締切

平成3年1月14日(月)

●応募・問合せ先

朝日町宮宿1,115番地
朝日町教育委員会
生涯学習課 社会教育係
☎ 67-2111 内線 313

●表彰／優秀作品については
2月24日(日)に開かれる第3
回生涯学習推進大会にて発
表、表彰し、賞状、賞品を
差し上げます。

●その他／①作品を町関係の
冊子等の表紙、挿絵に利用
させていただく場合があります。
②作品は応募者にお
返しします。③応募者全員
に記念品を差し上げます。



とわかりやすく問題を整理し、
なぜそうなるのかという原因追
究や、その汚染による様々な影
響について、こと細かに説明し
ていただきました。

日本の経済繁栄（現在の豊か
さや平和）は、熱帯雨林破壊、
地下資源の枯渇、伝統的生活様
式の破壊、非工業国の貧困・飢
餓、ゴミ・産業廃棄物の大量放
出、資源産出国の政情不安とい
う、目を覆いたくなるような現
実の上に成り立っているという
のです。

その事例の一つ一つを聞いて

いるうちに、私は憂鬱な気分にな
り、吐き気をもよおしたくな
るほどでした。なぜなら、その
話を聞いてみると、現代の人間
の生活は、すべて自然破壊の元
凶となり、生活文化の豊かさが
地球を汚染し、結局、私たちの
生活そのものを根こそぎくつが
えしてしまうことになるだろう
というのです。

これでは、人間は数千年の歴
史の中に築き上げてきた文明社
会に生きることはならず、ただ
何の解決の方策も持たず、原始
社会の中に生きていかなければ
ならないのだろうか、とても
悲観的な考えに陥らざるをえな
い話の展開となってしまうので
す。

でも幸福を求める自由を持つて
いるのです。

私は環境問題については、ま
だまだよく理解してはいません
が、これだけは思うのです。

すべてにおいて、人間の心の
中に思い描くことは、現実社会
に映し出されてくると思うので
す。素直な心は素直な社会を生
み、美しい心は美しい自然を育
み、優しい心は優しい世界をつ
くる、と。

*

た。するとまた、サワサワ、サ
ワサワ。それは、いなごでした。
たわわになった稲の穂の間をこ
んどは駆け抜けるように、自由
に飛び交って行きます。私は不
思議な思いで眺めていました。

秋空に映る田んぼは黄金色に
輝き、遠く山々までも続してい
る、そんな実りの秋でした。

弱い秋風に乗って漂う赤とん
ぼ。何かをついばみに舞い降り
て来ては、いっせいに飛び立つ
すずめの群れ。青空高く、一羽
悠然と輪を描くとんび。こんな
にも自然が調和している私たち
の町。

忘れかけていたものを、そし
てどこかに置き忘れてきた私た
ちの本当の心を、私たちの町の
小さな自然は、季節の移り変わ
りを通して、私たちに静かに語
りかけているように思われるの
です。

（教育広報委員 鈴木浩幸）

鈴木伸治選手(平)

二種目制覇

山形県高校新人・一年生大会
が九月二十九日と三十日の二日
間にわたり、県陸上競技場で行
われました。

男子八百メートルと千五百メ
ートルに出場した鈴木伸治選手
（山形商業高校・平）は、二種
目とも優勝。今後の飛躍が大い
に期待されます。

西町チーム優勝

県民スポーツ西村山地区大会

九月三十日、町内二カ所を会
場に開催された同大会で、西町
チームがみごと優勝しました。
同大会には郡内から予選を勝
ち抜いた十六チームが出場し、
激戦を展開しました。



優勝の喜びにわく西町チーム

歓迎北川環境庁長官「世界へメッセージ」 緑の大地をとりもどそう



「このとりくみを世界へアピールしたい」と「空気神社」であいさつをする
北川環境庁長官

空気まつり

大気の恵みに感謝し、地球環境保全の大切さを世界へアピールしようと、「空気まつり」が十月六〜七日、朝日自然観を会場に北川石松環境庁長官を招いて盛大に開催されました。

「空気」・「宇宙」・「緑」をテーマとして建立された空気神社も、五行（木・火・土・金・水）のモニュメントが完成し総合完工式を実施。また、記念植樹やブナの実を入れた、風せんメッセージを大空へ飛ばしたり、新鮮な野菜やくだものが豊富に並んだ市場が出るなど、一日中たくさんの人たちでにぎわいました。



食べられるものから、食べられないものまで
ずらり並んだキノコの見本



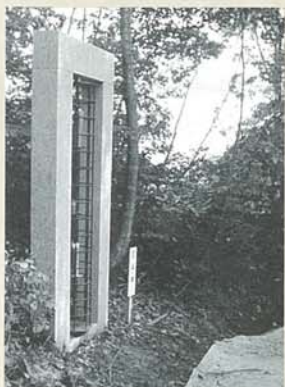
丸太を輪切りにして焼印を押せば
自然観グッズの出来上がり



五行のモニュメント群



木(成長・発展)



火(上昇)



土(収穫)



金(新生)



水(潤下)



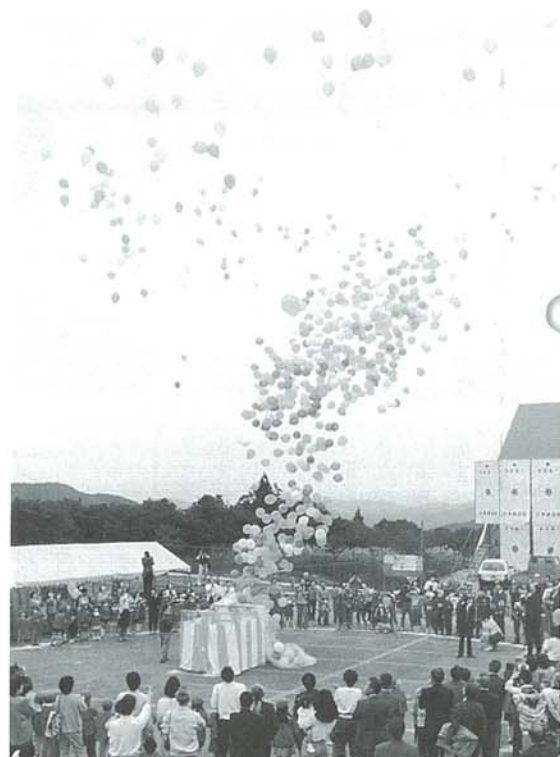
北川長官の歓迎レセプションを開催



「巫女の舞」を披露



ほら貝を吹く羽黒山山伏



メッセージとブナの実をつけた1000個の風せんが上空へ



北川長官とともに記念植樹



新鮮なくだものがたくさん並びました



これが朝日のリンゴジュースか



●中沢／五十嵐英史さん
珠美さん

さややか 新婚さん

知り合ったのは高校時代。先輩、後輩の仲でクラブ活動の暇を見つけては、図書館でグループ交際をした二人。「あの頃は単なる友達としてワイワイ、ガヤガヤ騒いでいただけで、特別の感情はなかったね」と語る英史さん。

卒業後も続いたグループ交際で、愛が芽ばえ結婚へ。「自然に結婚したという感じがですね」と語る珠美さんのそばで「空気がいい関係だね」とは英史さん。

これからは平凡な明るい家庭をつくりたいと、気どらない自然派指向の新婚さんです。
(遠藤喜由 広報委員)

人口と世帯数

●平成2年9月30日現在

人口	10,696 (0)
男	5,301 (4)
女	5,395 (- 4)
世帯数	2,591 (1)
	() 内対前月

大舟木 大町
佐藤 吉範 ♡ 村山 真美
太郎二 ♡ 松 程
村山 康二 ♡ 佐竹真知子



おしあわせに

(婚姻届)



すいゝかに

(出生届)



やすらかに

(死亡届)

区名	出生児氏名	父名	区名	死亡者氏名	世帯主
前田沢	齋藤 智秋	真一	松原	長岡 兼	利三郎
四ノ沢	伊藤 将貴	秀一	大町	長岡 兼	浩之
西町	富樫 泰裕	高男	太郎二	長岡 兼	治之
大谷四	榎 元輝	元一	助ノ巻	布施 惠助	嘉隆
能中	海野 真導	光洋	小原	菅井 信	正彦
杉山	安藤 菜望	弘一	大町	菅井 信	正彦
			石須部	岸 恒雄	政則
			栗木沢	遠藤 たつよ	



●明鏡荘へ TENT を贈呈
(旬平和物産(小松真一代表取)

第26回朝日町芸術文化祭



情報箱

■テーマ「自然・ふれあい・文化の町」
■芸術発表会
・十一月三日(土)午前十時三十分
・町中央公民館(大ホール)

締役・中沢)より明鏡荘へ屋外用 TENT 二張り(二十万円相当)が寄付されました。

●明鏡荘へ布きんをプレゼント
趣味の会ホビー・ルーム「トウインクル」(倉沢美津子代表・前田沢)より、手づくりの押し花プリント布きん百四枚が、入荘者にプレゼントされました。

■移動芸術発表会
・十一月三日(土)午後七時
・大滝公民館
■展示部門
・十一月三日(土)～四日(日)
・中央・西部・北部の各公民館
と町体育館

知名度高い「朝日町りんご」

東洋一を誇る大田市場(東京都)のりんご友の会が主催した、アンケート調査で朝日町りんごが上位入選を果しました。
この調査は八月に全国七五〇の小売店を対象に、生産者の知名度を調査したもの。山形朝日農協が第二位。和合、古楨果樹組合も上位にランクされ「りんごの町」にふさわしい結果となりました。

春夏秋冬

編集後記

ところで、先が見えている。以前、広報を担当したある先輩が「写真はまず、どんなとることだよ。でも相手と話しをすることも忘れずにね」と話してくれたことがある。
たまに、自分が気に入った写真を見ると、撮影する前から知り合いだったりすることがある。信頼関係が成立して始めていい写真が出来るということか。さて今月号はどうだろう。(K)

表紙は今年一年「働く」をテーマに、若い後継者のみなさんに登場願っている。できるだけ季節感を混じえながら、若者の生き生きとした姿を写したいと心掛けていたが、なかなかいい写真がとれない。
それもそのはず、十年前に一眼レフカメラは買ったが、今ではバカチョンカメラで「ハイチーズ」。いきなり、かつての名器といわれるカメラを手にしたと